
カオスにも程がある大破壊後

折れた砲塔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カオスにも程がある大破壊後

【Nコード】

N1350Y

【作者名】

折れた砲塔

【あらすじ】

大破壊後の世界で集落に引きこもりながら生活する。偶に外に出てもやっぱり車の中に引きこもる。そんな一人の転生者の生活録です。

かなり不定期かつ駄文です。

一話目（前書き）

やって見たかったから投稿。
後の黒歴史である。

一話目

「おう、おっさん。今日のお勧めは鶏肉かい？」

「悪いな、今日は魚料理なんだ。トレーダーが珍しいの持ってきてくれてね」

「うーん、汚染合成肉じゃないから良いんだけど、余り酒には合わねえんだよな。偶には汚染されていない鳥がツマミで食べてえな」

「今日は無いけど明日なら用意できるよ。全く、この世界での最大の贅沢を軽く言ってくれるな。まあ、そんな事も言えるのもアンタ等が守ってくれる地下プラント様様だよな」

「全くだ！お陰でやり甲斐のある仕事も有るしな。ハッハッハ」

「精々俺と地下プラントをシッカリ守ってくれよ。その為ならお通し位タダで出してやるからな」

「安心しろい、衣食住確りあるこの仕事は気に入っているんだ。俺だけでなく仲間も皆同じ気持ちだぜ。だからぶつとびハイも序でにタダで出してくれよ」

「余り調子にのるなまったく。まあ今日は守ってくれたしつと、ほらよ焼きアメーバだ」

「お、太っ腹だねー。こりやお勧めは相当いいもんだな、期待し

てるぜ」

マスター生活も随分と板についてきた気がするな！。

この狂った世界に送り出されてもうすぐ一年、最初はどうかと思っただけが今は随分と馴染んできた様な気がする。

運送中に事故で崖から転落をし、死を実感して「ああ、次の人生は健康な体になりたい」と思いながら意識を失い……

気が付いたら素っ裸でカプセルの中に横たわってた。

最近の医療技術スゲーとか思いながらこっからどうやって出るんだと悩んでいたら、突然カプセルが開いた。とりあえず外に出て下着を探したら、部屋には大型のパネルとコンソール、それに手書きのノートが一冊あるだけだった。

下着が欲しくてナースコールしようと思ったらそれらしいのは存在しない。ベットの中か？とまたカプセルの中に入ると突然閉まりだし、いい歳したおっさんが裸で喚くという新しい黒歴史を生産するハプニングにも見舞われたが、とりあえずシーツを体に巻き裸か

らは脱却した。

外に出ようにも扉はロックされたままなので出れないし、そのうち誰か気付くと思い手書きのノートを見てみた。ノートの中身はなんとというか……「ありえねー、嘘だろオイ」と読みながら何度連呼したか解らないほどの内容だった。

曰く、神様のミスで殺した事。転生しか方法がなく別の世界へ送った事。強い体を望んでいたから該当するモノにした事。特典として生きられる環境の所に送った事。忙しいのでこの形式を取った事の事。この世界の事。今の状況の事。

まあ、死んでしまった事は諦めるとして、健康体も望んでいたからむしろ有り難い。とりあえずいじり方が頭に入っていたのでコンソールをいじって見ていたら、おっそろしい者が見えたのと同時にこの世界が解かったよ。しっかしなあ、いくらなんでもこの世界は無いよ神様……なんでよりによってこの世界なんだ……

なんでメタルマックスのゴメス山賊団やバイアス・グラップラー
とクラン・コールドブラッド、それにメタルサーガのG O R O ' s
とミュート族と一緒にヒヤッハー！！やってんだよ！！

メタルマックスとメタルサーガが一緒になった世界ってカオスに
も程があるだろオイ！！

絶対に第二の人生は早死確定だよ!! 誰か助けて下さい!!

二話目（前書き）

昨日投稿して又投稿。

ネタは有っても文才は無い。

メタルマックスは略称MM、MM2、MM3

メタルサーガは略称MS、MS2、MSNFで行きます。

二話目

「この世界で生きられる自信が全くねえよ……」

外の映像を確認して改めて思った。いや、なんで敵方集団の混成部隊が形成されてるのかもわかんねえけど、よりによって襲っているのが賞金首扱いだったスナザメ（MM2 / 3）やインペイラー（MSNF）の群れなんてお前等強過ぎるだろ！！って突っ込みまったし。

とりあえず神様が書いたノートを再度読みなおして今の状況を確認したところ、今いる施設内なら安全であるとの事なのでコンソールを又いじくって、この世界の事や周辺状況を確認して見る。

メタルマックスやメタルサーガの世界ならばアレがいるのかの確認しないといけないだろうと、まず始めに今現在までの世界情報の記録を見てみた。

記録によるとこの施設はノアシシステムに汚染されていないことが確認され、またノアの反応も無いことが判明した。つまりMM1よりは後の世界だということが解かった。とりあえず施設の暴走は無いものと思われる。

良かったー、本当に良かったよー。ノアシシステムに汚染されてそのまま抹殺されたなんてせっかく命拾ったのに意味ないし。

次に現在位置と地図の確認を行った。現在はビルの地下深くに有

る生産プラントの中央管理室らしい。どうやら神様の特典で作られた原作には無い施設であるという事らしい。ヘルプの項目に神様からの文章書きが入っていた。他にも神様謹製の施設が複数有ると事らしいが外の世界がヤバイので此処から出る気はなく、とりあえずほっとく事にした。

世界地図は全部表示されているのではなかったが、一部表示でも施設周辺や他の地域も確認できた。どうやらMM3の川から西側と北側しか表示されないが、46億年タートルトレーダー西の廃墟群のビル地下が今の位置らしい。って合わせただけで画像が出るってすごいな。

他の地域も確認出来ないか弄ってみたところなんか見たこと無い施設を発見、マップ北西のデスベガスより北に橋が掛かっている。確かここが北限だからなんかおかしいとマップを更に北に合わせて確認してみた所、MMで見たこと無い地形が見られたって……

なんでMSNFのグレートウォールに繋がってるの？しかも賞金首のシルバーボア(MSNF)が群れでハンター襲ってるし！！

あ、戦車吹っ飛んだ。

本当にこの世界はヤバイわ、どうやってこれから生活しよう。

とりあえず現在の状況と位置は確認したから、次は周辺の確認と施設を調べ終わってから考えるか。あと服も探さないと。

三話目（前書き）

3日連続投稿。

明日は夜勤だから投稿出来無い。

文才と記憶力が欲しい。

主人公の名前は少し先。

携帯のMSはやってないので登場しない予定。

三話目

「アレはハンターが哀れすぎるわ……」

映像を見てしみじみと思った。戦車って山なりに吹っ飛ぶものなんだって……

いやオカシイよね！！絶対おかしいよ。何十トンも有るMBTが山なりに飛んで行くななんてありえねえよ！

絶望感を増加させた世界地図の確認作業を終わらせてから一息ついて、嫌な予感がすっごいするけど周囲の状況を確認に入ろう。そうしないとこれから先のことも考えられないし。

グレートウォールに合わせていたカーソルを現在位置周辺に合わせて様子見する。ビルの廃墟が立ち並んでいるが、確かこの廃墟って唯の瓦礫群だった気がするけどまあいいや、どうせ神様特典なんだから気にしない方向で行く。

一棟のみ単独で建っている施設が入ってるこのビル周辺にモンスターは今は居ない。次に比較的ビルの痕跡が残ってる向かいのビルを確認する。上部の崩れてる部分にいていさつUFO（MM、MM2、MM3）が3体ほど居るが他は見られない。

なんだ余りいないじゃん、ていさつUFOならすぐ逃げるし問題

ないじゃん、と思いつつ向かいのビルの左側の瓦礫に合わせてみた。

うん、さっきの気持ちを返してくれ……

スローウーカー（MM3）が十体くらいで日向ぼっこ中でやんの。あと名前忘れたけど掃除機と蛇の間の子（バキウムマンバMM3）が五体位寝てるし、更にびんかんバニー（MS）がびんかんバニー（MM2）に跨って複数走る回って居やがる。こりゃ真の意味で裸一貫装備無しの俺は外には出れんな。

とりあえず外に出る考えは放棄して、今現在居る施設について調べよう。

生産プラントで有ることはさっき軽く調べて分かったけど、具体的に何を作っているのかも調べないといけないな、それに中央管理室内に有る物も調べないと。ということでは解らないけど使用方法が頭に入っているので調べてみた。

まずはプラントについて調べたけど、どうやらこの施設は食料品及び嗜好品生産プラントだった。水、穀物、野菜、魚、食肉、調味料それに酒。更には戦闘糧食まで生産して有る。神様特典スゲーよこれ。しかも地下水の汚染除去もしているらしく食料に汚染が全く無し。

ノートに書いてあった生きられる環境の所に送ったの理由が解かったよ。

次にプラント内の就業員施設について調べる。どうやら中央管理室内のカプセルはサイバーウェア用調整カプセルとの事だ。つまり俺の体はサイバーウェアだということになる。設備の使用方法が解ったのも納得だしノートにあった強い体って言えばその通りなんだが、実際問題としてどれ位強いんだろう？賞金首のレッドフォックス（MS1）や仲間キャラのアルファ（MS1）と同じ体だけど、生産プラントに有るって事は戦闘用じゃ無さそうだしな。生前の喘息や食品アレルギーが無いだけでも有り難いんだけどね。

あと重要なのは従業員証というかマスター登録というべきアイテムの発見だった。コンソールの脇にある腕時計型のBSコントローラーがそうらしいので登録して装着する。布巻きに腕時計という変態一步手前の格好だが、これで扉が開くし警備システムにも引っかかるからなる。

そしてとりあえず中央管理システムを切り上げて、部屋から出ることにした。いや、服が欲しいのよホント。いい加減なんか服着たいし、警備システムも見てみたいしということ、やっこの思いで部屋から出た。んだが……やっぱこの施設もヤバイわ。

扉に賞金首の零九式安全神話（MS2）が組み込まれているわ口ポポリス（MM）が何体も歩いてるわですっげえ怖いよ！！

BSコントローラー外したら襲って来るのかな……マスター登録してるから大丈夫だよね？

不安だ……そして早く服が欲しい。

四話目（前書き）

お気に入り登録をしてくれた方や感想を書いてくださった豚角煮様、
このような駄文に態々有難う御座います。

ネタか文章が頭から無くなるまでは頑張らせて頂きます。

夜勤の仮眠中に文章出し。

やはり文才が欲しい。

仮眠時間が無くなった。

夜勤明けで眠いのに打込。

文章に不安が残る。

四話目

「襲つてこないって解つていてもやっぱり怖ええなー」

とりあえず中央監視室から出て就業員用施設の探索の為、廊下を歩いているんだが……後ろからは扉の上にある零九式安全神話（MS2）の目が常に視線を合わせてるし、ロボポリス（MM）はすれ違う時にチラ見してる感じに動くし、かなり心臓に悪い。

20m位歩いた所で扉発見、プレートに【生産プラント監視所】と書いてある。扉には零九式安全神話もきっちり組み込まれているしでやっぱり怖い。入ろうかと思つたがまずは服を探すことにして後回しに、又廊下を歩き出す。

今度は数分歩いて【就業員諸室】のプレートが書いてある扉を発見、扉を開けようとするが開かない。マスター登録したのに何で？と思つていたら扉の横にカードリーダー発見……

ICカード持っていない……

どうやら警備システムが組み込まれていない扉はカードキー式のセキュリティらしい。仕方ないので此処の扉を諦めて、警備室を探すことに。

この施設を歩いて思つたのだが、【就業員諸室】から扉も見当たらず分岐が無い、唯一本道の通路が続いてる。複雑に成っていないことは有り難いのだが、防災上の理由なのかそれだけプラントが広いのか。広さだとすればかなり大規模な生産プラントだろう。

俺一人には持て余す施設だわ。

距離も解からない位歩いて、ロボポリスとも何十対とすれ違った所ようやくロボポリス以外の何かが見えた、どうやら新しい部屋らしき物だろう。やっと警備室かと思い近づいて行き、改めて警備の異常さを知ったよ。

セキュリティスフィア（MM3）二体とゴーゴンホール（MM2）ぱつと見て30体程が受付っぱい前の通路で蠢いてるよ。

うん、ここ何処のラストダンジョンだよ？しかも警備室の先にエレベーター見えたけどどう見ても人間用だよ、戦車入れないでこの規模だと絶対に死ねる。BSコントローラーは絶対に外さない様しよう。

受付が有るって事は、確認作業をする為の部屋が設置されているって事だろう。もしかすると此処が警備室か？結構歩いたなー思ってたんだが全く疲れていない。

おかしいなーと思いシーツの位置をずらしてみたが、よく考えて

触ってみると全く汗をかいていない。当たり前だわ、機械に組み変わっているんだから。しかし戦闘用じゃなさそうなサイバーウェアでもこれ位なんでも無いのは素直に感動した。幾らなんでも距離も解らない位歩けば足は疲れるだろうし、年齢的にも腰に負担がかかる為に肉体疲労がかなり来るし。こりゃ戦闘用じゃなくても強い体だわ、なんか気分良くなってきたぞー。

そして考え事を終わらせて扉の前に立つ。扉のプレートに「警備監視室」の記載が有る、しかもカードリーダーは無し。いよいよ歩き回って下が擦れたシーツ巻きともオサラバだよ！！わくわくしながら扉を開けると

ヨージンボーグ（MM3）が目の前に突っ立ってた。

うん、怖かったんだ。すつごく。

シーツ外れてるのもお構いなしで四つんばいで逃げて扉締めました。扉から出たところでセキュリティスフィアに睨まれたような感じでこっち見てきました。素っ裸で何やってんだこいつ、って目で訴えてる感じでした。

ヘタレで何が悪い！！『玄関開けたらヨージンボーグ』なんて想像してねえし、あの面構えは怖いんだよ。

警備室入るの辞めようかな……シーツの加工を悩み始めた瞬間である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1350y/>

カオスにも程がある大破壊後

2011年11月5日13時12分発行